

福岡市舗装協会は福岡市の「博多旧市街プロジェクト」に参加しています。そのひとつの取り組みとして、寺院が立ち並ぶ博多旧市街の「石畳風舗装」の事業に参加しています。

この「石畳風舗装」は透水性アスファルト舗装にセメントミルクを注入した後、舗装表面を「御影石風」にするため、ショットブラスト（表面を凹凸にする）を行った後、カッター目地を入れて石畳風に仕上げる方法です。

福岡市舗装協会は新たな舗装の技術をさらに高め、歴史・文化に配慮した道づくりに貢献していきたいと考えています。

6月29日、御供所通りで「石畳風舗装工事」が完了したことを祝うイベントが高島福岡市長、博多祇園山笠の関係者などで行われました。



「石畳風舗装」の完成風景







工事施工お知らせの看板

